

活用に関する検討課題

1、整備目標（『銚子山古墳整備基本計画』より）

- 歴史学習・体験の場として活用する
- 地域固有の風土景観を提供する場としての環境を整える
- 公園的景観・観光レクリエーションの場としての環境を整える
- 周辺観光施設等との一体的活用をはかる
- 京丹後市のシンボル・モニュメントとして活用する

また、利活用に当たっては地域の人々とともに企画運営を促進する。

2、前回の委員会での意見

（1）地域の視点から

- ・コフーン（網野庁舎跡地施設）との連携を図る。そのためには急傾斜地の伐採が必要。
- ・さくら銚子山の会では緑化ができればと考え、現地にはサクラを植えた。
ほかにイチヨウ、梅畑・モクレンが周辺には植わっている。

（2）観光の視点から

- ・網野駅から徒歩で訪れる方への導線、案内看板の整備が必要。
- ・寛平法王陵祭りを古墳祭りに発展したい。
内容は、古墳コンサート、講演会（丹後王国、大陸とのつながり）、鉄づくりの学習、埴輪展、土器製作、古代船再現、古墳時代食、スポーツ、狩り・火起こし体験、古墳ライトアップなど。
時期は7月下旬（26日）。一方、24日網野神社愛宕祭、25日丹後町みなとまつり、30日川裾さんと集中するのでにぎやかになり、よい。

- ・桃山の里と連携して埴輪の復元、ミニチュア埴輪の販売などができれば面白い。

（3）教育の視点から

- ・銚子山の価値、存在意義の啓発が課題としてあるため、子供たちへの学び、イベント、シンポジウムの開催、説明看板の内容の調整が必要。



鉾子山周辺植栽位置図